

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2018年10月15日 第320号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

10月15日 秋の一斉平和宣伝行動

早朝、県内20駅頭で一斉宣伝!

「東海第二原発の再稼働反対」

「憲法9条改悪、辺野古新基地建設許さない」



秋の茨城県平和委員会の県内一斉宣伝行動は、10月15日早朝、県内の主要駅頭20カ所で行なわれました。

今回のテーマは「東海第二原発の再稼働反対」「憲法9条改悪、辺野古新基地建設許さない」で、チラシ、横断幕などにより通勤者の皆さんに訴えました。

県南地区では石岡、神立、土浦、荒川沖、牛久、守谷、取手、つくば、佐貫、竜ヶ崎の各駅で実行。(神立駅：かすみがうら平和の会、荒川沖駅：阿見平和の会)

土浦駅には10人が参加

土浦平和の会の担当は土浦駅。会員など10人が参加し駅利用者に熱心に訴え、ビラを配布しました。



翁長知事の意志受け継ぐデニー氏が圧勝

「辺野古に基地はつくらせない」、過去最高得票で勝利

9月30日の沖縄県知事選挙で、翁長知事の意志を受け継ぎ、「辺野古に基地はつくらせない」とのかたい決意で選挙戦をたたかった玉城デニーさんが39万票以上の過去最高得票を得、圧勝と言える勝利をおさめました。政権与党のなりふり構わぬ卑劣な選挙介入を打ち破った勝利です。激しい選挙戦をたたかいた「オール沖縄」の勝利は、民意を無視して基地建設をごり押ししようとする安倍政権に痛烈な打撃となり、さ

らに市民と野党の本気の共闘が前進すれば、国政上の多くの課題で国民の願いが実現する展望を切り開くものとなりました。

この勝利は、沖縄のみならず、米軍オスプレイの横田配備など新たなたたかい、さらに日米安保、日米地位協定など積年の“平和の課題”を前進させる上で大きな希望となりました。

豊見城市長もオール沖縄が勝利

とみぐすく

10月14日投票の豊見城市長選でも、新基地反対「オール沖縄」の山川仁氏が自民・維新・希望推薦の候補に大差をつけて勝利しました。





安倍9条改憲NO! 3000万人署名

進む駅頭・各戸署名行動

引き続きねばりつよく進めましょう

継続進行中です、憲法共同センターの統一行動

安倍内閣の9条改憲策動はこの秋ますます緊迫の情勢です。3000万人署名のいっそうの前進が求められています。

土浦憲法共同センターの統一行動（駅頭宣伝や地域署名）は25回を数え、延べ参加者は270名、戸別訪問での署名数は881筆に到達しています。土浦9条の会の早朝スタンディング（木田余地域）も41回と着実に回を重ねています。

平和の旅 秋の甲州路 (山梨県)

好評につき参加枠はあとわずかです

日程 11月13日(火)・14日(水)

前号に詳細

費用 2万円 (交通費/ホテル代/入館料等)

募集人数 30名

申込先

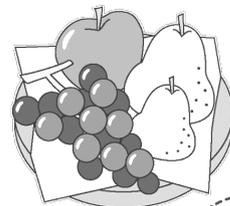
近藤輝男 080-1987-4050

森泉弘子 080-1084-7428

福田勝夫 090-3537-2632

古澤 明 090-6509-1223

福田洋子 090-8314-3934



お悔やみ

黒川 博さん逝去

茨城県被団協会長、一貫して核廃絶の運動を支え、原爆展など土浦の各種取り組みでも中心的存在だった黒川博さんが去る10月6日逝去されました。89歳でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

9月1日、水戸市駿優教育会館において行われた集会に参加しました。800席の会場は立ち見も併せて1000人の盛況でした。

福島からの報告はニュースで報道されないことばかりで、本当に衝撃的でした。前南相馬市長桜井氏は怒りを込めて語りました。

3月11日東日本大震災が起こり、12日には福島第1原発の爆発が起こったが、放射能の拡散の連絡はなかった。22日になってやっと東電から退避の知らせがあって初めて自分のところも危険だということがわかった。25日には南相馬市も立入禁止になった。浪江町まで退避になったのは26日のこと。大震災で行方不明の人の捜索ができなくなってしまった。家畜に餌をやることもできないので牛は小屋の柱をかじってやせ細って死んでいく。他の牛がその

福島から原発NO!の訴え切実

東海第2原発再稼働STOP茨城県大集会に参加して

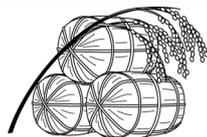
井上仁志(土浦平和の会理事)

死骸を食う、さらに豚が死んだ牛の肉を食う。

原子力規制委員長が「原発の放射能の7割は海に向かって広がった。シミュレーションによると、風邪向きによっては350キロメートル範囲(名古屋あたりまで)広がる」と報告していたが、報道されていない。

双葉町の原発事故避難者大沼氏は被災地の家屋調査が始まったが「除染か撤去か、撤去の費用は自己負担だ」と言われた。帰ることもできないのにとんでもないと憤慨していました。

集会の賛同者代表の美保村長中島氏、前東海村長村上達也氏、元日本医師会長原中氏、生協連合会会長佐藤洋一氏、常陸農協秋山豊組合長、社会福祉法人淑徳会理事長伏屋氏の訴えもあって集会決議文採択で閉会となりました。閉会后市内アピール行動がありました。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行) 月額400円